

むすび

以上が、平成29年度小郡市下水道事業会計決算の概要である。

平成29年4月から地方公営企業法の財務規定等を適用したことに伴い、経理内容や下水道資産を的確に把握することで、合理的かつ効率的な事業運営や経営状況の把握・分析が可能となっている。

29年度の純利益は488,024千円となった。これは筑後川中流右岸流域下水道事業に対する維持管理負担金の平成28年までの累積黒字分の返還金などの特別利益326,715千円が要因となっている。

営業収益の根幹をなす下水道使用料は836,574千円となり、現年分の収納率は98.21%となっている。なお、29年度より水道料金との一体徴収も開始されている。下水道使用料、受益者負担金の徴収や滞納金回収になお一層の努力をお願いしたい。

下水道事業は、生活環境の改善と水質保全のための重要な事業であり、持続的かつ安定的な経営が求められる。

今後、施設設備の老朽化による更新費用や企業債の償還など多額の財源も必要とされることから、中長期的な視野をもって収益の確保、コストの縮減に取り組み、より効率的で安定した経営に向け努力するよう期待するものである。